

1 主題

主体的に学習に取り組むことができる児童の育成 —個別最適化された学習の実現を目指して—

2 主題設定の理由

本校では令和元年度より2年間にわたり、「豊かな学校生活を送ることができる児童の育成—自分も相手も気持ちよく行動できる姿を目指して—」を主題として、道徳科の時間を中心に、相手を思いやって行動する態度や、礼儀正しく振る舞う態度を育てるために研究を行ってきた。2年間にわたる取り組みにより、児童の間には友達との関わりにおいて、相手を思いやろうとする行動が見られるようになったり、挨拶をはじめとして、自分から礼儀正しくしようとする態度が見られるようになったりするなど、一定の成果が見られた。

一方で、児童の学力面に目を向けると、本校の児童は、自ら課題を見つけて学習に取り組むことができる児童が少なく、自分に合った学び方を身に付けることができていない。

令和3年1月26日に公表された中教審答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』では、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿として、『個別最適な学び』が進められるよう、これまで以上に子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるように促していく」ことが求められるとしている。また、市教委から出された「令和3年度 名古屋市学校教育の努力目標及び重点事項について」では、努力目標として「すべての子どもに対し、一人一人に応じた個別最適化された学びを提供し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する」ことが挙げられている。

画一的な一斉授業からの転換を図り、児童一人一人の進度や能力、関心に応じた個別最適化された学びを提供することは、授業が分からないという悩みを抱えた児童や、落ち着いて学習に取り組むことができない児童が、自分に合った学び方を身に付け、主体的に学習に取り組むことにつながると考える。さらに、本校の児童の実態を踏まえると、個別最適化された指導を取り入れ、一人一人の学習課題や発達段階に応じた指導の工夫をすることは大変意義深いと考える。

以上のことから、本年度の努力点主題を、「主体的に学習に取り組むことができる児童の育成—個別最適化された学習の実現を目指して—」と設定し、研究を行っていくことにした。

3 具体的な推進計画

(1) 実践の基本的な進め方

① 実態把握と分析、指導方法の検討

年度当初に児童の基礎学力の実態を把握するために、既習事項の小テストを行ったり、学習に対する関心・意欲面についてのアンケート調査を行ったりする。その結果を分析した上で、学年ごとに目指す児童像と今年度の方向性を決め、指導方法を検討する。さらに、学習を進めていく中で、経過観察や効果の分析を行い、定期的に指導方法に修正を加えていく。

② 実践

授業実践と日常実践を行い、研究の主題に迫る

○ 授業実践

児童が主体的に学習に取り組むことができるように、一人一人の進度や能力、関心に応じて個別最適化された学びを提供することができる授業を考え、実践する。また、授業作りを行うに当たっては「なかまなビジョン」を参考にするとよい。

《研究の進め方》

- ・ 学級担任については、全員前後期に1回ずつ実践を行うものとする。ただし、公開授業にするものはどちらかの1回とし、学年内で前期公開者と後期公開者を均等に振り分ける。(公開授業を行う際には指導略案を作成し、授業の3日前までに職員に配布する。)
- ・ 校内代表授業者を前後期で一人決定し、模擬授業を基に授業案を全員で検討する。(代表授業者は指導細案を作成する。)
- ・ 代表者の授業を参観し、そこから学んだことをその後の実践に生かす。

○ 日常実践【朝の学習タイム】

毎週火・水・木曜日の8時30分～45分の15分間を朝の学習タイムとし、各児童がそれまでの学習を受けて、段階別に分けられた課題に取り組んだり、繰り返し練習などを行ったりする時間とする。

《研究の進め方》

- ・ 各学年で、実践内容を決める。
- ・ 10分程度でできる学習の仕方を検討する。
- ・ 取り組んだものは次年度以降に引き継ぐことができるようにする。

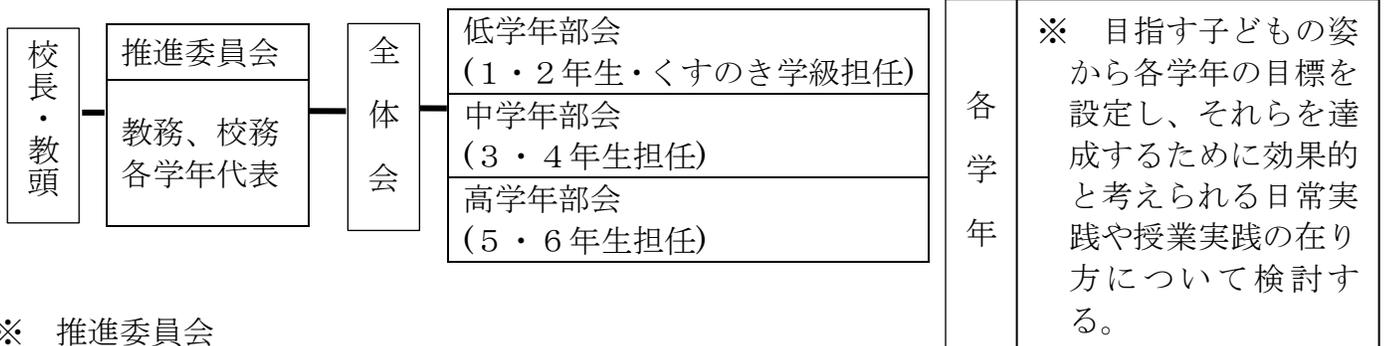
○ 実践の成果・課題の把握と改善策の検討

実践についての中間・最終報告書を作成して報告し、全職員で検討する場を設ける。報告会を通して、成果と課題を明らかにし、後期、または、次年度への研究に生かす。

(2) 保護者の理解を啓発するための情報発信

実践の様子について、学年ごとに学年だよりや懇談会などで保護者への周知を図り、理解を深める。また、授業参観の機会を通して、実践の様子についても公開する。

4 研究組織



※ 推進委員会

基本的な計画について検討し、実践の進め方や方法、報告書の形式について話し合う。